

新日本保険新聞

16.12.26

「健康経営セミナー」

損保ジャパン日本興亜など主催

大阪商工会議所、大阪府、損保ジャパン日本興亜、同ひまわり生命の主催による「健康経営セミナー2016」健康経営による生産性の向上」が12月9日午後2時から大阪市中央区の損保ジャパン日本興亜大阪ビル大



健康経営セミナーの様相



エアロバイクによる点灯式

会議室で催された。第一部は大阪樟蔭女子大学・健康栄養学部健康栄養学科教授・石蔵文信氏の「健康づくりで健全経営」。同氏は医師であり「男性更年期障害」として診察するための外来を東京と大阪で持つ。

企業の安全も必要」と述べた。配慮義務への対応が精神面へと質的変化

が生じており、心の病を持つ社員が半数の企業で増加しているという。これは企業の生産性にも影響するといわれている。

うつ病の兆候や原因、現在の傾向などについて解説し、特に、最近では会社のストレスだけでなく、家族の問題、介護の問題など家庭からのストレスも重なってうつになることを指摘。対策として「困ったときは社内だけでなく、産業界やメンタルコンサルタントなど専門家に丸投げすること

第二部ではSOMPO リスケアマネジメント・コンサルティング部大阪支店・恩田弘行氏(精神保健福祉士)の「ストレスチェック制度の活用」。まず、ストレスチェック制度の目的について「メ

いか」と訴えた。

セミナー終了後、石蔵氏が代表を務める「日本原始力発電所協会」とのエアロバイク発電機を使ったイルミネーションの点灯式が同ビル1階の路面で行われた。

損保協会近畿支部

米原市で「ぼっさいダック」を展示・実演

損保協会近畿支部(高野耕一委員長)は11月27日、滋賀県米原市の県立文化産業交流会館で開催された滋賀県子ども会連合主催「遊びの宝島へGO(行こう)」に同支部が協力を依頼している